



臨床研究立ち上げから英語論文発表まで最速最短で行うための極意：すべての臨床医に捧ぐ超現場重視型の臨床研究指南書

原正彦著. — 金芳堂, 2017.

ISBN: 9784765317344

REVIEWER

医学研究科 社会健康医学系専攻
M1

論文を 書くも書かぬも キミしだい

「最速最短で臨床研究の立ち上げから英語論文発表までを行う」

そんな目標を、本書では掲げていますが、これはとても魅力的なセリフです。なぜなら、研究には柔軟で新しいアイデアはもちろん、押さえなければならないポイントと、そして何よりも「勢い」が大切であるからです。本書はその「勢い」と、各ポイントのステップを明快にまとめています。

この本では、押さえなければならないポイントを14の「極意」として紹介しています。14の極意はもとより、小見出しもそれぞれ簡潔に書かれているので、非常に読みやすく分かりやすいです。特に、メンターの必要性や上司との付き合い方、共著問題など、研究を行う上で多くの臨床医が不安や疑問に感じる部分をフォローしてくれるTipsも散りばめられている点はユニークだと思います。

また何と言っても、本書のイチバンの売りは、「臨床研究をやり遂げる勢い」を与えてもらえることです。研究を始めてから論文を出版するまで、その間で最も重要なものは「気持ち」です。その気持ちをどのように持つか、維持するか、そんなところまでカバーできているのが、この本だと思います。

ただ、本書は「臨床研究への啓発本」的な立ち位置だと感じます。実際に本書だけで研究はできないので、さらなる学習（独学や京大SPHへの入学など）や専門家へのコンサルが必要になると思います。その実践的には、内容として浅めの本です。しかしながら、各々の段階で挫折そうになった時には、本書で心機一転「勢い」づけることは効果的だと思います。

さあ、つぎに論文を書くのは、キミですよ！

受理：2018-05-14

490

7

H 31

医図開架